End of Result Set

Generate Collection

L1: Entry 3 of 3

File: DWPI

Feb 26, 1992

DERWENT-ACC-NO: 1992-118313

DERWENT-WEEK: 199215

COPYRIGHT 2001 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Miticidal compsn. for mite repellent activity - comprises methyl acetophenone, 2-phenylethyl alcohol, iso-thymol, methyl benzoate and/or methyl salicylate

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

HASEGAWA CO LTD

HASE

YG INTEX CO LTD

INTEN

PRIORITY-DATA: 1990JP-0166735 (June 27, 1990)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE PAGES MAIN-IPC

JP 04059703 A

February 26, 1992

N/A

003 N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP04059703A

June 27, 1990

1990JP-0166735

N/A

INT-CL (IPC): A01N 31/08; A01N 35/06; A01N 37/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP04059703A

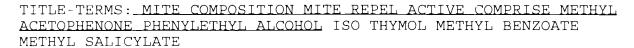
BASIC-ABSTRACT:

Compsn. comprises carvone, p-methyl acetophenone, 2-phenylethyl alcohol, (iso)thymol, methyl benzoate and/or methyl salicylate. Pref. component(s) are added to conventional additives at ratio of 3-10 (3-5) wt.% and prepd. as emulsions, dispersions, suspensions, oil prepns., dusts, tablets or propellants.

USE/ADVANTAGE - Repellent action is obtd.

In an example, filter papers of 5.8 cm dia. and contq. 100 q/m2 of component were placed in Petri dishes and 100 mites each were released in dishes. Death rate after 24 hrs. was 98.9-100%.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0



DERWENT-CLASS: C03

CPI-CODES: C10-E02; C10-E04B; C10-F02; C10-G02; C12-B04; C12-C06;

CHEMICAL-CODES: Chemical Indexing M2 *01* Fragmentation Code G036 G562 H7 H721 J5 J561 M210 M211 M213 M232 M240 M282 M320 M415 M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903 M904 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 10216M Chemical Indexing M2 *02* Fragmentation Code G013 G100 J5 J581 M210 M211 M240 M262 M281 M320 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 M903 M904 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 09375M Chemical Indexing M2 *03* Fragmentation Code G010 G100 H4 H401 H481 H8 M280 M312 M321 M332 M342 M373 M391 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 M903 M904 M910 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 00199M Chemical Indexing M2 *04* Fragmentation Code G036 G562 H4 H401 H441 H8 M210 M211 M213 M232 M240 M282 M320 M415 M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903 M904 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 04922M Chemical Indexing M2 *05* Fragmentation Code G010 G100 J0 J011 J2 J231 M210 M211 M272 M281 M320 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 M903 M904 M910 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 00600M Chemical Indexing M2 *06* Fragmentation Code G011 G100 H4 H401 H441 H8 J0 J011 J2 J231 M210 M211 M272 M281 M320 M414 M431 M510 M520 M531 M540 M782 M903 M904 M910 P002 P331 P341 P862 Specfic Compounds 00991M

UNLINKED-DERWENT-REGISTRY-NUMBERS: 0199U; 0600U; 0991U

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1992-054899

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-59703

®Int. Cl. 5

織別記号

庁内整理番号

④公開 平成4年(1992)2月26日

35/06 A 01 N

31/08 37/10 37/40 8930-4H 8930-4H

8930-4H 8930-4H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

60発明の名称 殺ダニ剤

> 平2-166735 ②特 100

平 2 (1990) 6 月27日 忽出

@発 明 者 田 大 沖縄県那覇市首里石嶺町2-96-1

有限会社インテツクス 他出 願 人

沖縄県浦添市伊祖1-33-1 牧港建設第2ビル

長谷川香料株式会社 他出 題 人

東京都中央区日本橋本町 4 丁目 4 番14号

個代 理 弁理士 小林 正明 人

明維書

発明の名称

教ダニ剤

特許請求の範囲

カルポン、p-メチルアセトフェノン、2-フ ェニルエチルアルコール、チモール、イソチモ ール、メチルペンゾエートおよびメチルサリチレ ートからなる群から遺ばれた少なくとも1覆を有 効成分として含有する穀グ二剤。

売明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

[従来の技術]

本発明は、カルボン、pーメチルアセトフェノ ン、2-フ ェニルエチルアルコール、チモール、 イソチモール、メチルペンゾエートおよびメチル サリチレートからなる群から選ばれた少なくとも 1 種を有効成分として含有する数ダニもしくは防 グニ効果を有する新規な数グニ剤に関する。

屋内性のイエグニ等はアレルギー、虫咬症等の

被害を人間にもたらす害虫である。これらダニ類 の防除用として、有機リン系教グニ剤、カーバメ イト系数ダニ剤、ピレスロイド系数グニ剤等が使 用されてきたが、安全性の置からピレスロイド系 殺ダニ剤が比較的広く使用されてきた。他にもダ 二、ゴキブリ、黒アリ等に対して忌避作用を有す るアルキルフェノールを有効成分として含有する 客虫忌避剂(特爾昭第59-78105号公報)。 **パラフィン系炭化水素と安息香酸ペンジルとを併** 用した穀ダニ剤(特開昭第61~91103号公 報)、リナロールを含有したノミ、家パエ、蚊、 ダニ等の殺虫剤(特開昭第61~83103号公 軽)、イソポルニルチオシアノアセテートを含有 したダニ類の忌避剤(特開昭第60-4101号 公報)等が提案されてきた。

[発明が解決しようとする課題]

しかしながら、上記した従来提案されてきた教 グニ効果もしくは防グニ効果を有する殺グニ剤は 必ずしも満足できるものではなかった。

本売明者らは、有効な数グニ剤を開発すべく鋭

意研究を進めた結果、優れた殺ダニ性もしくは防 ダニ性を示す新規な薬剤の開発に成功し、本発明 に到達した。

すなわち本発明の目的は、優れた防ダニもしく は殺ダニ効果を示し、かつ安全性にも優れた殺ダ 二剤を提供するにある。

[課題を解決するための手段]

本発明は、カルボン、p-メチルアセトフェノ ン、2-フェニルエチルアルコール、チモール、 イソチモール、メチルベンゾエートおよびメチル サリチレートからなる群から選ばれた少なくとも 1種を有効成分として含有する新規な殺ダニ剤を 提供する。

上記カルボン等の各成分は、イガ等の羊毛害虫、 ヒメカツオブシ虫等の衣類客虫、蚊、ゴキブリ等 のいずれかに対する忌避剤もしくは殺虫剤として は既知の化合物である。本発明者らは、アレルギ 一、虫咬症等の被害をもたらす屋内性のイエダニ 等のダニ類に対する殺ダニ剤を開発すべく鋭意研 究を進めてきた結果、上記選択された各成分が殺

程度に応じて任意に選択できる。通常本発明のカ ルポン等の各成分の含有率は、液剤、粉剤等の場 合には、約3~10重量%が実用的であり、さら に実用的には約3~5重量%が好ましい。

本発明の殺ダニ剤は、有効成分そのものまたは その製剤を、ダニ類(例:ケナガダニ、コナダニ、 ツメダニ、シラミダニ、ホコリダニ、イエダニ、 ニキビダニ等)の接息区域、例えば一般家庭、食 堂の厨房、家具、押し入れ、洗面所等にあるいは 穀物倉庫の必要箇所に噴霧、散布、塗布等の各種 手段を連用することにより、ダニ類を殺ダニもし くは防ダニできる。

以下実施例に基づき本発明をより詳細に説明す る。以下の例において、特に断りの無い限り%は 重量%を示す。

実施例

数グニ試験

第1表に示す各成分をそれぞれ変性アルコール で濃度5%に希釈し、直径5.8cmの円形評紙 に O . 2 6 m l (100 s / m²の割合) 含浸させ、

ダニ効果、防ダニ効果に特に優れていることを見 いだし、本発明に到達した。

本発明のカルボン等の各成分はそのまま使用し てもよいが、好ましくは適当な有機溶剤、例えば 変性アルコール、エーテル等で希釈、あるいは遺 当な担体に吸着、混合または分散させて使用する。 担体の例としては、珪藻土、アルミナ、酸性白土、 木粉、カオリン、ベントナイト、活性炭、紙、シ リカ等を例示できる。これら担体は1種または2 種以上の混合物として使用してもよい。また本発 明のカルボン等の各成分を各種の合成樹脂に含浸 または退離して使用してもよい。

さらに使用目的によっては、乳化剤、分散剤、 懸濁剤、湿潤剤、安定剤等を添加し、油剤、乳剤、 水和剤、粉剤、錠剤、噴射剤等の形状で使用して んよい。

本発明の殺ダニ剤には必要により他の殺ダニ剤、 香料等を適宜配合してもよい。

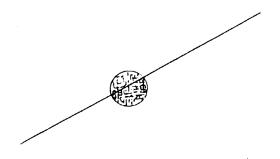
製剤中の有効成分の濃度および施用量は、剤形、 予防、駆除、有効成分の種類、害虫による被害の

24時間風乾した。その沪紙を直径5.8cmの ガラス製シャーレの底面に敷き、生きたケナガダ 二を約100匹入れた後和紙で蓋をした。これら のシャーレを室温で75%RHの環境下に24時 間放置した。

変性アルコールのみを上記と同じ割合で含浸さ せた沪紙を用いて上記と同じように操作して、対 照試験とした。各試験とも2回繰り返して測定し た。

放置後、ケナガダニの生死料定を行った。なお 生きているダニとは、体の一部を動かしているダ ニである.

試験結果を第1表に示す。



第1表

	殺ダニ率(%)		
	Α	В	平均
カルボン	100	100	100
p-メチル			
アセトフェノン	100	100	100
2-フェニル			
エチルアルコール	100	100	100
チモール	100	100	1.00
イソチモール	100	100	100
メチル		-	
ベンゾエート	100	97.9	99.0
メチル			
サリチレート	100	97.8	98.9
対照試験	4.6	2.1	3.4

[発明の効果] ・

本発明によれば、優れた殺ダニ、防ダニ効果を 示す新規な殺ダニ剤が提供される。

出職人 有限会社インテックス

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-059703

(43) Date of publication of application: 26.02.1992

(51)Int.CI

A01N 35/06 A01N 31/08 A01N 37/10 A01N 37/40

(21)Application number: **02-166735**

(71)Applicant:

INTETSUKUSU:KK

T HASEGAWA CO LTD

(22)Date of filing

27.06.1990

(72)Inventor:

MORITA MASARU

(54) MITICIDE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the subject safe miticide containing a compound selected from carvone, p-methylacetophenone, 2-phenylethylalcohol, thymol, etc., as the active component and effective to wool insect pests such as a bur, mosquitoes, mites,

CONSTITUTION: One or more compounds selected from carvone, p- methylacetophenone, 2-phenylethylalcohol, thymol, isothymol, methyl benzoate and methyl salicylate are used as the active components. In application, the above-mentioned compounds are used preferably after adsorption, mixing or dispersion using a suitable organic solvent or a suitable earrier although they may be used without any modification. The content of the active components is preferably about 3-10wt.%, especially about 3-5wt.% in case of a liquid drug, a powder drug, etc.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's

decision of rejection or application converted registration

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection|

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japanese Patent Office